

授業科目名・形態	災害看護学 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	小玉 光子・成田 亜紀子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

日本は災害多発国であり、突如発生する災害は人々の生活や健康に甚大な影響を及ぼす。災害看護学では、「災害直後から支援できる看護の基礎知識について理解すること」の条項にそって、知識と演習をとおり、災害サイクル各期で看護職が果たす役割を学習する。

【到達目標】

1. 災害看護に関する基本的な知識を理解できる。
2. 災害が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解することができる。
3. 災害サイクル各期に応じた看護の役割を理解することができる。
4. 災害急性期の被災者のトリアージを習得できる。
5. 災害発生時、要配慮者の救護を理解することができる。
6. 災害時のメンタルヘルスについて考えることができる。

【授業計画・内容】

1. 災害時の保健医療とは（小玉）
2. 災害保健医療の理解（小玉）
3. 災害急性期の災害保健医療と看護実践（成田）
4. 災害急性期の看護活動 演習①（成田）
5. 災害急性期の看護活動 演習②（成田）
6. 慢性期の災害保健医療と看護実践（小玉）
7. 要配慮者への看護（小玉）
8. 災害時のメンタルヘルス（小玉）

【授業実施方法】

講義形式およびトリアージ等の演習

【授業準備】

予め教科書の該当部分に十分に目を通すこと。関連する科目も真剣に授業を受けること。

【主な関連する科目】

救急医療と看護、看護倫理、基礎看護学、成人看護学、小児看護学、老年看護学、在宅看護学、精神看護学、カウンセリング、看護コミュニケーション、公衆衛生学、感染と免疫、国際看護活動論

【教科書等】

新体系看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学 メヂカルフレンド社

【参考文献】

災害看護学 心得ておきたい基本的な知識 小原真理子監修 南山堂
 多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力 小井戸雄一編著 医学書院
 災害看護学 看護の専門知識を統合して実践につなげる 酒井明子編集 南江堂

【成績評価方法】

レポート（95%）、講義および演習の受講態度（5%）等を総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

創傷を管理する認定看護師として、患者や家族への対応を経験してきた。また、あらゆる救急傷病者への対応力を身に付けた高度救命救急センターでの経験を活かす。

発災直後の対応から災害サイクル全般において、多職種との連携の必要性を説き、人々の生命や健康を守ることの重要性を学んでいく。

【学生へのメッセージ】

常日頃から災害に関する情報に関心を持ちましょう。また、災害医療の基礎を知っているか否かは、被災者の命に直結すると考えましょう。